

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

(平成23年度～平成25年度)

報告時期

平成23年4月1日

No.

35

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 秘書広報課
項目番号	項目名	1	行政の守備範囲の見直しについて	連絡先	22-9600
取組番号	取組名	1	行政の役割の明確化としくみの見直し	責任者名(所属長)	藤岡 淳次
実施事項名	審議会のあり方の見直し		新規	総合計画基本施策番号	
				主な事務事業評価シート名	
取組内容	◆設置している審議会について現状を把握する (審議会数、設置目的、委員構成、開催手法等) ◆審議会の現状に基づき、委員構成及び運営に関する見直し基準の作成 (平成23年4月現在 審議会数 118)				
取組による効果	◆適正な附属機関を設置することで、専門的で民意を反映した施策を推進できる。				

進捗管理	△ : 調査・検討    ⇒ : 実施    ◎ : 完了    × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	△			⇒			◎		
変更等									
実績									
年次計画	①審議会の現状(審議会数、設置目的、委員構成、開催手法等)について、関係各課に調査する。			①審議会の現状について、調査結果を分析し、見直しを要する内容等について検討する。			①審議会のあり方について見直し基準を作成する。 ②審議会のあり方について見直し基準を庁内周知		
年次取組実績	①			①			① ②		
数値目標(単位)	審議会の設置数 ( )								
	目標		実績	目標		実績	目標		実績
数値目標積算				審議会の設置数			審議会の設置数		
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

報告時期

No. 36

(平成23年度～平成25年度)

平成23年4月1日

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 収税課
項目番号	項目名	1	行政の守備範囲の見直しについて	連絡先	22-9612
取組番号	取組名	1	行政の役割の明確化としくみの見直し	責任者名(所属長)	藤森 尚志
実施事項名	自力執行権の行使による負担金の削減	新規	総合計画基本施策番号	68	
			主な事務事業評価シート名		
取組内容	◆三重地方税整理回収機構への移管を削減し、機構負担金の縮減に努める。				
取組による効果	◆自力執行権の行使により、市単独での滞納処分を行うことで、三重地方税整理回収機構への移管を削減し、機構への負担金の縮減を図る。 但し、本年度(H22)の効果はH24年度以降から発生する(H21決算ベース 7,009千円縮減)				

進捗管理	△ : 調査・検討    ⇒ : 実施    ◎ : 完了    × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	⇒			⇒			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①納税意識の高揚を図るため広報「いが市」や行政チャンネルなどを通じ啓蒙、啓発に努める。 ②公平、厳正な滞納整理及び滞納処分のため積極的な差押を行う。			①納税意識の高揚を図るため広報「いが市」や行政チャンネルなどを通じ啓蒙、啓発に努める。 ②公平、厳正な滞納整理及び滞納処分のため積極的な差押を行う。			①納税意識の高揚を図るため広報「いが市」や行政チャンネルなどを通じ啓蒙、啓発に努める。 ②公平、厳正な滞納整理及び滞納処分のため積極的な差押を行う。 ③差押物件のネット公売の積極的な実施を図る。		
年次取組実績	① ②			① ②			① ② ③		
数値目標(単位)	負担金額 (千円)								
	目標	5,000	実績	目標	3,500	実績	目標	2,000	実績
数値目標積算	平成21年度決算ベースの30%の縮減			平成21年度決算ベースの50%の縮減			平成21年度決算ベースの70%の縮減		
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標	2,000	実績	目標	1,500	実績	目標	1,500	実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

報告時期

No. 37

(平成23年度～平成25年度)

平成23年4月1日

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 収税課
項目番号	項目名	1	行政の守備範囲の見直しについて	連絡先	22-9612
取組番号	取組名	1	行政の役割の明確化としくみの見直し	責任者名(所属長)	藤森 尚志
実施事項名	経常経費の削減		新規	総合計画基本施策番号	68
				主な事務事業評価シート名	
取組内容	◆夜間延長窓口の見直し 納税者の利便性を目的に夜間延長窓口を開設しているが、納税コストとして相当の経常経費が発生することからコンビニ収納をはじめ収納チャンネルを増やすことで納税者の利便性を保ち、合わせて、夜間延長窓口を廃止し経常経費の削減を図る。				
取組による効果	◆いつでも、どこからでも納税が出来る				

進捗管理	△ : 調査・検討    ⇒ : 実施    ◎ : 完了    × : 中止					
年度	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
計画	⇒		⇒		⇒	
変更等						
実績						
年次計画	①クレジット収納、モバイル収納等の平成26年度導入に向けて検討を行う。 ②夜間延長窓口の平成26年度からの廃止に向けて各課協議を行う。		①クレジット収納、モバイル収納等の平成26年度導入に向けて検討を行う。 ②夜間延長窓口の平成26年度からの廃止に向けて各課協議を行う。		①クレジット収納、モバイル収納等の平成26年度導入に向けて検討を行う。 ②夜間延長窓口の平成26年度からの廃止に向けて各課協議を行う。	
年次取組実績	① ②		① ②		① ②	
数値目標(単位)	コンビニ収納が収納件数全体に占める割合 ( % )					
	目標	5	実績	目標	7	実績
数値目標積算	コンビニ収納が収納件数全体に占める割合(パーセント)		コンビニ収納が収納件数全体に占める割合(パーセント)		コンビニ収納が収納件数全体に占める割合(パーセント)	
数値目標(実績)積算						
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由						
総務課の意見						

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

報告時期

No. 38

(平成23年度～平成25年度)

平成23年4月1日

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 収税課
項目番号	項目名	1	行政の守備範囲の見直しについて	連絡先	22-9612
取組番号	取組名	1	行政の役割の明確化としくみの見直し	責任者名(所属長)	藤森 尚志
実施事項名	徴税コストの削減	新規		総合計画基本施策番号	68
				主な事務事業評価シート名	
取組内容	◆滞納処分(差押)等にかかる臨場を郵送等に変え、旅費等の経費の削減を図る。 ◆定期的に臨場(徴収)していた顧客に対し、自主納付を促し臨場を廃止し人件経費の削減を図る。 ◆繰り返し催告の縮減により、郵送料の削減を図る。 ◆納税組合に交付している「事務費補助金」の交付にあつては、H23年度より事務の適正強化を図り、将来的には補助金の廃止を行う。 ◆連合会活動補助金についても見直しを行い、平成24年度の活動補助金廃止を検討する。				
取組による効果	◆滞納処分(差押)等にかかる臨場を郵送等に変え、旅費等の経費がH21年度予算ベースで1,250千円からH22年度予算ベースで900千円に、H23年度予算ベースでは400千円に縮減が図られる。 ◆納税組合への「事務費補助金」適正強化を図った場合、H21決算ベースで5,144千円の支出があり、そのうち20%程度の縮減が見込まれる。				

進捗管理	△ : 調査・検討    ⇒ : 実施    ◎ : 完了    × : 中止											
年度	平成23年度		平成24年度		平成25年度							
計画	⇒		⇒		⇒							
変更等												
実績												
年次計画	①事務費補助金の見直し 補助金の交付有きの体制から、現に納税貯蓄組合が支出した実費のみの補助金交付へ移行し補助金交付の適正化を図る。 ②連合会活動補助金の廃止 平成24年度分からの活動補助金廃止を検討する。		①補助金の見直し 補助金の交付有きの体制から、現に納税貯蓄組合が支出した実費のみの補助金交付へ移行し補助金交付の適正化を図る。		①補助金の見直し 補助金の交付有きの体制から、現に納税貯蓄組合が支出した実費のみの補助金交付へ移行し補助金交付の適正化を図る。							
年次取組実績	① ②		①		①							
数値目標(単位)	事務補助金額 (千円)											
	目標	4,630	実績		目標	4,370	実績		目標	4,110	実績	
数値目標積算	H21決算ベースで5,144千円の支出があり、そのうち10%程度の縮減が見込まれる		H21決算ベースで5,144千円の支出があり、そのうち15%程度の縮減が見込まれる		H21決算ベースで5,144千円の支出があり、そのうち20%程度の縮減が見込まれる							
数値目標(実績)積算												
財政効果額(千円)	目標	514	実績		目標	260	実績		目標	260	実績	
変更・中止等理由												
総務課の意見												

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書  
(平成23年度～平成25年度)

報告時期 平成23年4月1日 No. 39

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 企画課
項目番号	項目名	1	行政の守備範囲の見直しについて	連絡先	22-9620
取組番号	取組名	1	行政の役割の明確化としくみの見直し	責任者名(所属長)	藤山 善之
実施事項名			「(仮称)行政関与の基本方針」の策定	総合計画基本施策番号	57
取組内容			◆「(仮称)行政関与の基本指針」などを策定し、事務事業の妥当性を検証するしくみを構築する。		
取組による効果			◆市の施策や業務について、市民や市民団体に任せるしくみが構築できる。 ◆補完性の原則により、市民自らが住民活動についての認識が深まる。		

進捗管理	△ : 調査・検討 ⇒ : 実施 ◎ : 完了 × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	△			⇒			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①「(仮称)行政関与の基本指針」の策定			①事務事業の検証 ②事務事業の見直し			①事務事業の検証 ②事務事業の見直し		
年次取組実績	①			① ②			① ②		
数値目標(単位)	「(仮称)行政関与の基本指針」策定 ( % )								
	目標	100.0	実績	目標		実績	目標		実績
数値目標積算	策定			策定後記載する。			策定後記載する。		
数値目標(実績)積算	「(仮称)行政関与の基本指針」の策定完了								
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書  
(平成23年度～平成25年度)

報告時期 平成23年4月1日 No. 40

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 企画課
項目番号	項目名	1	行政の守備範囲の見直しについて	連絡先	22-9621
取組番号	取組名	1	行政の役割の明確化としくみの見直し	責任者名(所属長)	藤山 善之
実施事項名	行政バス、廃止代替バス運行における運用見直しと行政の役割の整理		第1次大綱から継続	総合計画基本施策番号	51
	取組内容			主な事務事業評価シート名	
<p>◆伊賀市交通計画（H23～26）に基づき、行政バス、廃止代替バスの利用者ニーズ及び利用実態にあわせた運行形態（ダイヤ、ルート等）の見直しを行うことにより、各路線等の平均乗車密度又は平均乗車人数を改善させるとともに、事業面においても収支率を改善させる。</p> <p>◆伊賀市交通計画（H23～26）に位置づけたバス交通維持評価基準に基づき、各路線毎の評価を行い、行政の役割を整理する。</p>					
<p>取組による効果</p> <p>◆経済的に維持が可能で、安定的、持続的な交通サービスが提供できる交通体系を構築できる。</p> <p>◆財政への負担を軽減することができる。</p> <p>◆利用実態や利用者ニーズ、地域特性に応じた適正なダイヤ、ルート等に見直すことにより、収支改善を図る。運行委託をしている路線にあっては委託料、直営している路線にあっては人件費、燃料費等の抑制を図ることができる。</p>					

進捗管理	△：調査・検討 ⇒：実施 ◎：完了 ×：中止					
年度	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
計画	⇒		⇒		⇒	
変更等						
実績						
年次計画	①行政バスの運行形態（ダイヤ、ルート等）の見直し ②廃止代替バス運行形態（ダイヤ、ルート等）の見直し ③バス交通維持評価基準に基づく評価 ④デマンド運行の検討及び実証実験の実施		①行政バスの運行形態の見直し ②廃止代替バス運行形態の見直し ③バス交通維持評価基準に基づく評価 ④デマンド運行実証実験の実施		①行政バスの運行形態の見直し ②廃止代替バス運行形態の見直し ③バス交通維持評価基準に基づく評価 ④デマンド運行実証実験の評価及び改善	
年次取組実績	① ② ③ ④		① ② ③ ④		① ② ③ ④	
数値目標(単位)	収支率(%)、平均乗車密度(準基幹バス人/km)又は平均乗車数(地域アクセスバス人/便) ※準基幹バス=廃止代替バス(青山行政バス含む。)、地域アクセスバス=行政バス(青山を除く。)					
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
数値目標積算	路線別収支率=経常収益÷経常費用×100 平均乗車密度=運送収入/実車走行キロ×平均賃率 平均乗車人数=乗車人員÷人員		路線別収支率=経常収益÷経常費用×100 平均乗車密度=運送収入/実車走行キロ×平均賃率 平均乗車人数=乗車人員÷人員		路線別収支率=経常収益÷経常費用×100 平均乗車密度=運送収入/実車走行キロ×平均賃率 平均乗車人数=乗車人員÷人員	
数値目標(実績)積算						
財政効果額(千円)	目標	実績	目標	実績	目標	実績
変更・中止等理由						
総務課の意見						

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

(平成23年度～平成25年度)

報告時期

平成23年4月1日

No. 41

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	産業建設部 農林振興課
項目番号	項目名	1	行政の守備範囲の見直しについて	連絡先	43-2301
取組番号	取組名	1	行政の役割の明確化としくみの見直し	責任者名(所属長)	服部 智秀
<b>実施事項名</b>			各担い手センター団体補助金等の見直し	総合計画基本施策番号	42
取組内容			◆伊賀北部広域担い手センターといがまち担い手センターの統一に向けての検討 ◆担い手センターの統一について、伊賀北部農協及びいがまち担い手センターの実行組合長会等と調整協議を行う。	第1次大綱から継続	主な事務事業評価シート名 農地流動化地域総合対策事業
取組による効果			◆担い手センターを統一することにより、補助金等の見直しができる。 ◆今後、市全域を対象とすることができる。		

進捗管理	△ : 調査・検討 ⇒ : 実施 ◎ : 完了 × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	△			◎					
変更等									
実績									
年次計画	①担い手センターの統一について、伊賀北部農協及びいがまち担い手センターの実行組合長会等と調整協議を行う。			①平成23年度実施の評価結果を踏まえて、実施する。					
年次取組実績	①			①					
数値目標(単位)	調整会議開催数 (回)								
	目標	6	実績	目標	6	実績	目標		実績
数値目標積算	2ヶ月に1回実施(年間6回程度)			2ヶ月に1回実施(年間6回程度)					
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書  
(平成23年度～平成25年度)

報告時期 平成23年4月1日 No. 42

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	消防本部 消防救急課
項目番号	項目名	1	行政の守備範囲の見直しについて	連絡先	24-9102
取組番号	取組名	1	行政の役割の明確化としくみの見直し	責任者名(所属長)	福山 康宣
実施事項名			伊賀市消防団適正化計画の実施	総合計画基本施策番号	16
取組内容			◆伊賀市消防団適正化計画により、基本団員数・支援団員数及びポンプ積載車数の見直しを行う ◆団員の年報酬・出勤手当を見直し処遇改善を行う		
取組による効果			◆支援団員・女性団員の設置により、早急な災害対応や、部・班の統合により活動範囲が広くなり広域的な体制となることから、地域の事情に明るい団員の大量動員が可能となる。		

進捗管理	△ : 調査・検討 ⇒ : 実施 ◎ : 完了 × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	⇒			◎					
変更等									
実績									
年次計画	①欠員のある部・班から支援団員を募集する ②適正化計画の集約を行い、25年度からの基本団員・支援団員・ポンプ積載車の配備計画を作成する			①欠員のある部・班から支援団員を募集する ②適正化計画の集約を行った配備計画の遂行					
年次取組実績	① ②			① ②					
数値目標(単位)	意見の集約を行った分団数 ( % )								
	目標	88.88	実績	目標	100	実績	目標		実績
数値目標積算	24分団/27分団			27分団/27分団					
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標	意見集約後に算出	実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書  
(平成23年度～平成25年度)

報告時期 平成23年4月1日 No. 43

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 総務課
項目番号	項目名	1	行政の守備範囲の見直しについて	連絡先	22-9622
取組番号	取組名	1	行政の役割の明確化としくみの見直し	責任者名(所属長)	澤田 洋子
実施事項名			行政評価制度の効果的・積極的な活用	総合計画基本施策番号	67
取組内容			◆評価結果を事業実施や予算に反映する ◆課題に対するの徹底した事務改善 ◆第三者評価導入の検討	第1次大綱から継続	主な事務事業評価シート名
取組による効果			◆市民ニーズや費用対効果、目標への達成度などの分析を基礎としながら、必要性、有効性などの経営的視点から点検及び見直しを行うことにより、行政活動に「計画→実施→評価→改善」のサイクルを確立し、効率的で効果的な事業の実施を進めることができる。		

進捗管理	△ : 調査・検討 ⇒ : 実施 ◎ : 完了 × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	⇒			⇒			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①評価結果の予算への反映方法を検討 ②第三者評価導入の検討 ③課題に対するの徹底した事務改善			①課題に対するの徹底した事務改善			①課題に対するの徹底した事務改善		
年次取組実績	① ② ③			①			①		
数値目標(単位)	課題の改善率 ( % )								
	目標	100	実績	目標	100	実績	目標	100	実績
数値目標積算	前年度の課題を改善した事業数*100/ 前年度に課題があるとされた事業数			前年度の課題を改善した事業数*100/ 前年度に課題があるとされた事業数			前年度の課題を改善した事業数*100/ 前年度に課題があるとされた事業数		
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

(平成23年度～平成25年度)

報告時期

平成23年4月1日

No. 44

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 総務課
項目番号	項目名	1	行政の守備範囲の見直しについて	連絡先	22-9622
取組番号	取組名	1	行政の役割の明確化としくみの見直し	責任者名(所属長)	澤田 洋子
<b>実施事項名</b>			権限移譲の推進	総合計画基本施策番号	
取組内容			◆県が示した移譲事務について、担当課に意向を確認する。 ◆移譲を希望する事務に係る県と担当課との協議の場を必要に応じて調整する。	第1次大綱から継続	主な事務事業評価シート名
取組による効果			◆権限移譲を一層推進することによって、地方自治体の行政運営の自由度を高めることができる。		

<b>進捗管理</b>		△ : 調査・検討    ⇒ : 実施    ◎ : 完了    × : 中止					
年度	平成23年度	平成24年度		平成25年度			
計画	⇒	⇒		⇒			
変更等							
実績							
年次計画	①他市の権限移譲の事例について、伊賀市での導入の可否を検討 ②県が示した移譲事務について、担当課に意向を確認する。 ③移譲を希望する事務に係る県と担当課との協議の場を必要に応じて調整する。	①県が示した移譲事務について、担当課に意向を確認する。 ②移譲を希望する事務に係る県と担当課との協議の場を必要に応じて調整する。	①県が示した移譲事務について、担当課に意向を確認する。 ②移譲を希望する事務に係る県と担当課との協議の場を必要に応じて調整する。				
年次取組実績	① ② ③	① ②	① ②				
数値目標(単位)	( )						
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
数値目標積算							
数値目標(実績)積算							
財政効果額(千円)	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
変更・中止等理由							
総務課の意見							

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

(平成23年度～平成25年度)

報告時期

平成23年4月1日

No.

45

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 総務課
項目番号	項目名	2	民間参入等の推進について	連絡先	22-9601
取組番号	取組名	1	効率的な民間委託の推進と運営方法の見直し	責任者名(所属長)	澤田 洋子
実施事項名	民間委託の推進			総合計画基本施策番号	67
				第1次大綱から継続 主な事務事業評価シート名	一般管理経費
取組内容	◆「民間活用ガイドライン(平成19年11月策定)」の周知 ◆他市の民間委託化の事例について、伊賀市での導入の可否を検討				
取組による効果	◆事業の検証の際に、存続や主体等を再検討するための材料となる。				

進捗管理	△ : 調査・検討 ⇒ : 実施 ◎ : 完了 × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	⇒			⇒			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①予算編成時期にあわせてガイドラインの周知を行う。			①予算編成時期にあわせてガイドラインの周知を行う。 ②他市の民間委託化の事例について、伊賀市での導入の可否を検討			①予算編成時期にあわせてガイドラインの周知を行う。 ②他市の民間委託化の事例について、伊賀市での導入の可否を検討		
年次取組実績	①			① ②			① ②		
数値目標(単位)	周知回数 (回)								
	目標	1	実績	目標	1	実績	目標	1	実績
数値目標積算	各所属への周知回数			各所属への周知回数			各所属への周知回数		
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書  
(平成23年度～平成25年度)

報告時期 平成23年4月1日 No. 46

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	人権生活環境部 浄化センター
項目番号	項目名	2	民間参入等の推進について	連絡先	23-1179
取組番号	取組名	1	効率的な民間委託の推進と運営方法の見直し	責任者名(所属長)	西 實
実施事項名		市直営し尿収集業務の民間への委託または計画的な収集許可による収集範囲の削減		第1次大綱から継続	主な事務事業評価シート名
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法(合特法)に係る関係部署との連携</li> <li>◆直営収集の削減地域の選定</li> <li>◆許可(または委託)業者との協議</li> <li>◆対象市民への周知</li> </ul>			
取組による効果		◆収集量の減少に伴う直営し尿収集地域の削減による行政の事務事業領域の再構築(適正な人員配置とそれに伴うバキュームカー等の配置)			

進捗管理	△ : 調査・検討 ⇒ : 実施 ◎ : 完了 × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	△			△			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①合特法に係る関係部署の連携 ②直営収集の削減地域の選定			①許可(または委託)業者との協議 ②対象市民への周知			①適正な職員の配置		
年次取組実績	① ②			① ②			①		
数値目標(単位)	検討委員会の開催 (回)								
	目標	4回	実績	目標	5回	実績	目標	2回	実績
数値目標積算	検討委員会の開催 回/年			検討委員会の開催 回/年			検討委員会の開催 回/年		
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標	—	実績	目標	—	実績	目標	収集範囲の縮小とそれに伴う適正な人員等が決定した後	実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

(平成23年度～平成25年度)

報告時期

平成23年4月1日

No.

47

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	健康福祉部 介護高齢福祉課
項目番号	項目名	2	民間参入等の推進について	連絡先	26-9634
取組番号	取組名	1	効率的な民間委託の推進と運営方法の見直し	責任者名(所属長)	清水 健司
実施事項名	養護老人ホーム「恒風寮」の民営化の検討	新規	総合計画基本施策番号	6	
			主な事務事業評価シート名	恒風寮管理運営経費	
取組内容	◆施設の老朽化に伴い、今後施設の改築等も視野に入れた民営化を行う。 ◆指定管理期間においては適切な管理・運営とサービス向上への指導等を行い、平成25年度以降の民営化に向け、利用者及び指定管理者と調整・協議を進める。				
取組による効果	◆民間参入により管理運営内容が改善される。 ◆民営化により施設改築整備費用及び維持管理経費を軽減できる。				

進捗管理	△ : 調査・検討    ⇒ : 実施    ◎ : 完了    × : 中止											
年度	平成23年度				平成24年度				平成25年度			
計画	△				⇒				◎			
変更等												
実績												
年次計画	①民営化に向けた利用者(保護者)への説明及び意識調査の実施。 ②指定管理者制度から民営化に向けた協議・検討を行う。				①民営化に向けた利用者(保護者)への説明と同意を得る。 ②指定管理者制度から民営化への具体的なスケジュール等を決定する。				①民営化に向けた利用者(保護者)への説明。 ②指定管理者制度から民営化への諸手続きを完了する。			
年次取組実績	① ②				① ②				① ②			
数値目標(単位)	進捗率 ( % )											
	目標	40	実績		目標	80	実績		目標	100	実績	
数値目標積算	①利用者(保護者)への説明会の開催、意識調査の実施と分析 ②民営化に向けての確認事項と課題の洗い出し				①利用者(保護者)の同意確認 ②民営化へのスケジュールの策定および必要な手続きの確認・準備				①利用者(保護者)へスケジュール説明会の開催と同意確認 ②民営化への諸手続きの完了			
数値目標(実績)積算												
財政効果額(千円)	目標		実績		目標		実績		目標		実績	
変更・中止等理由												
総務課の意見												

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

報告時期

平成23年4月1日

No.

48

(平成23年度～平成25年度)

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 総務課	
項目番号	項目名	2	民間参入等の推進について	連絡先	22-9601	
取組番号	取組名	1	効率的な民間委託の推進と運営方法の見直し	責任者名(所属長)	澤田 洋子	
実施事項名	指定管理者制度運用マニュアルの公表			新規	総合計画基本施策番号	67
					主な事務事業評価シート名	一般管理経費
取組内容	<p>◆指定管理者制度の運用は、平成17年度に策定した「指定管理者制度の導入方針」で行ってきたが、その内容は当初の制度導入の考え方や事務対応の概要までしか記載がなく、事務的な指示はそのつど行っていた。これらのことから、施設所管課に制度導入からモニタリングまでの考え方や事務対応を時系列で整理したマニュアルの策定が必要であると考えた。制度導入当初から変更した点などを考慮し制度運用手法の見直しを行いマニュアルを公表する。</p> <p>◆新しく策定したマニュアルに基づくモニタリング結果の公表</p>					
取組による効果	<p>◆マニュアルには事務的な対応が様式を含め網羅されているため、施設所管課が制度運用を行ううえでいつごろどのような事務を行えばよいか分かる。</p> <p>◆マニュアルのモニタリングの項には結果の公表についての記載があり、指定管理者による施設の管理運営状況の概要をホームページで公表する。</p>					

進捗管理	△ : 調査・検討    ⇒ : 実施    ◎ : 完了    × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	⇒			⇒			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①新しいマニュアルを作成する。 ②マニュアルを庁内に周知する。 ③新しいマニュアルで制度運用を行う。 ④モニタリング結果を公表する。			①新しいマニュアルで制度運用を行う。 ②モニタリング結果を公表する。			①新しいマニュアルで制度運用を行う。 ②モニタリング結果を公表する。		
年次取組実績	① ② ③ ④			① ②			① ②		
数値目標(単位)	モニタリング結果の公表 (回)								
	目標	1	実績	目標	1	実績	目標	1	実績
数値目標積算	年度末モニタリング結果の公開回数			年度末モニタリング結果の公開回数			年度末モニタリング結果の公開回数		
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書  
(平成23年度～平成25年度)

報告時期  
平成23年4月1日 No. 49

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 管財課
項目番号	項目名	3	行政サービスの向上について	連絡先	22-9610
取組番号	取組名	1	市民の視点に立った行政サービスの再点検	責任者名(所属長)	宮崎 寿
実施事項名	施設配置の改善		新規	総合計画基本施策番号	
				主な事務事業評価シート名	
取組内容	◆新庁舎建設に合わせワンストップサービス等窓口サービスの検討部会を設置 ◆窓口サービスに係る市民を交えたワークショップの開催と検討事項の新庁舎建設設計への反映				
取組による効果	◆市民の視点に立った窓口サービスを提供できる。 ◆行政執務機能の効率化と満足度の高い窓口サービスの提供のバランスや将来の高齢化社会を見据えた施設配置ができる。				

進捗管理	△ : 調査・検討 ⇒ : 実施 ◎ : 完了 × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	△			⇒			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①新庁舎建設計画において窓口サービス検討部会を設置 ②市民を交えたワークショップの開催			①窓口サービス検討部会において検討 ②新庁舎基本計画及び実施計画に反映			①窓口サービス検討部会において検討 ②新庁舎基本計画及び実施計画に反映		
年次取組実績	① ②			① ②			① ②		
数値目標(単位)	( )								
	目標		実績	目標		実績	目標		実績
数値目標積算									
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

報告時期

平成23年4月1日

No. 50

(平成23年度～平成25年度)

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	健康福祉部 介護高齢福祉課	
項目番号	項目名	3	行政サービスの向上について	連絡先	26-3940	
取組番号	取組名	1	市民の視点に立った行政サービスの再点検	責任者名(所属長)	清水 健司	
実施事項名	ふくし総合相談支援窓口体制の構築			新規	総合計画基本施策番号	4
					主な事務事業評価シート名	福祉総合相談支援事業
取組内容	<p>◆市本庁舎は、市全体を対象とした各分野・制度・サービスの枠を超えた総合相談支援窓口体制の検討をする。</p> <p>◆住民が、身近なところで相談することができ、適切な解決策に結びつける支所管内の一次相談支援窓口体制も検討をする。</p>					
取組による効果	<p>◆ひとつの窓口で相談支援の対応をすることにより、住民がいくつもの窓口へ行かずに横断的な対応ができ、専門的な相談にも迅速・的確に対応できる。</p> <p>◆さまざまな分野・職種の相談支援担当者の連携や情報交換の場ができ、支援担当者・相談機関のネットワークを強化し、相談支援が円滑に進む。</p> <p>◆住民の困りごとについて、本庁が支援をしながら、より身近なところで相談支援を受け、課題解決できる。</p>					

進捗管理	△ : 調査・検討 ⇒ : 実施 ◎ : 完了 × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	⇒			⇒			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①事務分掌の整理 ②既存の縦割り組織や現状課題の洗い出し ③相談体制、情報発信・収集方法などの検討 ④分野を越えた相談支援に対応するための体制の検討			①事務分掌の整理 ②相談体制、情報発信・収集方法などの検討 ③分野を越えた相談支援に対応するための体制の検討			①事務分掌の整理 ②相談体制、情報発信・収集方法などの検討 ③分野を越えた相談支援に対応するための体制の検討		
年次取組実績	① ② ③ ④			① ② ③			① ② ③		
数値目標(単位)	総合相談支援体制検討会の開催回数 (回)								
	目標	6	実績	目標	6	実績	目標	6	実績
数値目標積算	総合相談支援体制検討会の開催/年			総合相談支援体制検討会の開催/年			総合相談支援体制検討会の開催/年		
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

(平成23年度～平成25年度)

報告時期

平成23年4月1日

No.

51

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 管財課
項目番号	項目名	3	行政サービスの向上について	連絡先	22-9610
取組番号	取組名	1	市民の視点に立った行政サービスの再点検	責任者名(所属長)	宮崎 寿
実施事項名	窓口対応の充実	新規		総合計画基本施策番号	
				主な事務事業評価シート名	
取組内容	◆新庁舎設計における市民ニーズに適合した窓口施設の整備 ◆繁忙期の土日の開庁や窓口取扱時間の延長等を考慮した庁舎管理システムの検討				
取組による効果	◆社会の変動に即したサービスの提供が可能。				

進捗管理	△ : 調査・検討    ⇒ : 実施    ◎ : 完了    × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	△			⇒			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①窓口サービスの検討部会の設置し、窓口取扱時間の延長等を検討する。 ②開庁時間延長に合わせた庁舎管理の改善検討を行う。 ③市民を交えたワークショップの開催			①窓口サービスの検討部会の設置し、窓口取扱時間の延長等を検討する。 ②開庁時間延長に合わせた庁舎管理の改善を行う。 ③新庁舎基本計画及び実施計画に反映			①計画を反映した新庁舎建設工事への着手		
年次取組実績	① ② ③			① ② ③			①		
数値目標(単位)	窓口サービス検討部会開催回数 ( 回 )								
	目標	4	実績	目標	2	実績	目標		実績
数値目標積算	部会の開催回数 4回			部会開催回数 2回					
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書

(平成23年度～平成25年度)

報告時期

平成23年4月1日

No. 52

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	教育委員会事務局 上野図書館
項目番号	項目名	3	行政サービスの向上について	連絡先	21-6868
取組番号	取組名	1	市民の視点に立った行政サービスの再点検	責任者名(所属長)	松井 節子
実施事項名	窓口対応の充実	新規		総合計画基本施策番号	33
				主な事務事業評価シート名	図書館管理経費
取組内容	<p>◆年間10万人を超える多様な入館利用者のニーズを把握するとともに社会の動向を的確に把握することに努め、少数のヘビーユーザーのニーズに偏らない無駄の無い選書を進めてサービスの提供を推進する。 ◆参考業務の充実を進め、利用者の図書資料の利用を推進する。</p>				
取組による効果	<p>◆限られた備品図書購入予算のなかで、より多くの利用者が満足する図書の提供を行うことができ、入館利用者の増加と共に貸出利用の促進につながる。 ◆市民ひとりひとりに自ら学ぶ機会を提供し、心豊かな地域社会を創造することに寄与する。</p>				

進捗管理	△ : 調査・検討    ⇒ : 実施    ◎ : 完了    × : 中止											
年度	平成23年度				平成24年度				平成25年度			
計画	⇒				⇒				⇒			
変更等												
実績												
年次計画	①毎年の図書館年間利用統計(入館利用者数・図書利用登録者数・貸出利用冊数等)を基に、次年度目標を設定し、利用の促進に取組む。 ②学校等への団体貸出の促進に取組む。 ③図書館・公民館図書室間の図書配送システムに取組む。				①毎年の図書館年間利用統計(入館利用者数・図書利用登録者数・貸出利用冊数等)を基に、次年度目標を設定し、利用の促進に取組む。 ②学校等への団体貸出の促進に取組む。 ③図書館・公民館図書室間の図書配送システムに取組む。				①毎年の図書館年間利用統計(入館利用者数・図書利用登録者数・貸出利用冊数等)を基に、次年度目標を設定し、利用の促進に取組む。 ②学校等への団体貸出の促進に取組む。 ③図書館・公民館図書室間の図書配送システムに取組む。 ④いがまち公民館図書室との図書館情報システムの構築に取組む。			
年次取組実績	① ② ③				① ② ③				① ② ③ ④			
数値目標(単位)	貸出冊数 (冊)											
	目標	227,000	実績		目標	229,000	実績		目標	231,000	実績	
数値目標積算	年間貸出図書数: 前年度比年間2,000冊の増見込 (平成21年度実績: 222,807冊)				年間貸出図書数: 前年度比年間2,000冊の増見込 (平成21年度実績: 222,807冊)				年間貸出図書数: 前年度比年間2,000冊の増見込 (平成21年度実績: 222,807冊)			
数値目標(実績)積算												
財政効果額(千円)	目標		実績		目標		実績		目標		実績	
変更・中止等理由												
総務課の意見												

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書  
(平成23年度～平成25年度)

報告時期

平成23年4月1日

No. 53

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 総務課
項目番号	項目名	3	行政サービスの向上について	連絡先	22-9601
取組番号	取組名	1	市民の視点に立った行政サービスの再点検	責任者名(所属長)	澤田 洋子
実施事項名	行政手続基準の管理	新規		総合計画基本施策番号	67
				主な事務事業評価シート名	一般管理経費
取組内容	<p>◆伊賀市では行政手続法及び行政手続条例に規定する、法令や条例に基づく申請や不利益処分等の行政手続基準が設定されていない。行政手続法では審査基準などを明確にすることで、行政運営における公正の確保と透明性の向上や市民の権利利益の保護に資することとされており、当市でも年次的に基準を設定し公表していく。初年度は法令に基づくもの、次年度は条例に基づくものとし、公表や管理の方法についても検討を行う。</p>				
取組による効果	<p>◆申請や不利益処分等の基準や処理期間が市民に明らかにされることで、行政運営における公正の確保や透明性の向上、市民の権利利益の保護に資することとなる。</p>				

進捗管理	△ : 調査・検討 ⇒ : 実施 ◎ : 完了 × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	⇒			⇒			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①法令に基づく申請と不利益処分等の基準の公表を行う。 ②条例に基づく申請と不利益処分等の基準の設定を行うための説明会や各所管課への事務対応依頼を行う。			①条例に基づく申請と不利益処分等の基準の公表を行う。 ②法改正時に変更を行うなど、設定した基準の改正を行う。			①法改正時に変更を行うなど、設定した基準の改正を行う。		
年次取組実績	① ②			① ②			①		
数値目標(単位)	基準の公表 (式)								
	目標	1	実績	目標	1	実績	目標	1	実績
数値目標積算	法令・条例に基づき設定した基準			法令・条例に基づき設定した基準			法令・条例に基づき設定した基準		
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									

第2次伊賀市行財政改革大綱 前期実施計画・進捗状況報告書  
(平成23年度～平成25年度)

報告時期 平成23年4月1日 No. 54

重点事項番号	重点事項名	2	行政の事務事業領域の再構築	担当部課	企画総務部 管財課
項目番号	項目名	3	行政サービスの向上について	連絡先	22-9610
取組番号	取組名	1	市民の視点に立った行政サービスの再点検	責任者名(所属長)	宮崎 寿
実施事項名	案内表示の改善	新規	総合計画基本施策番号		
			主な事務事業評価シート名		
取組内容	◆ユニバーサルデザインに配慮した全ての人に分かりやすい窓口案内表示の整備 ◆新庁舎建設設計への反映				
取組による効果	◆障害者や外国人を含むあらゆる方に分かりやすい案内板を設置することで、行政サービスの向上が図れる。				

進捗管理	△ : 調査・検討 ⇒ : 実施 ◎ : 完了 × : 中止								
年度	平成23年度			平成24年度			平成25年度		
計画	△			⇒			⇒		
変更等									
実績									
年次計画	①新庁舎建設計画において設置する窓口サービス検討部会にて検討する			①新庁舎建設計画において設置する窓口サービス検討部会にて検討する ②新庁舎設計に反映			①検討された実施設計に基づく建設開始		
年次取組実績	①			① ②			①		
数値目標(単位)	窓口サービス検討部会開催回数 ( 回 )								
	目標	4	実績	目標	2	実績	目標		実績
数値目標積算	部会の開催回数 4回			部会開催回数 2回					
数値目標(実績)積算									
財政効果額(千円)	目標		実績	目標		実績	目標		実績
変更・中止等理由									
総務課の意見									